

令和6年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

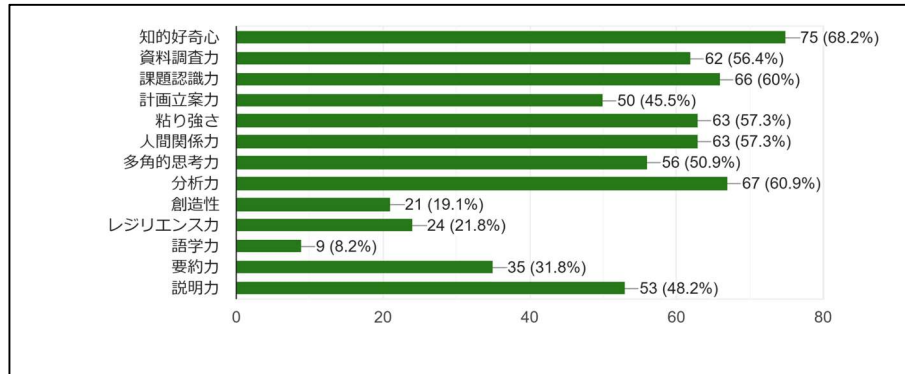
名 称	SSRⅡ「課題研究」ポスターセッション
期 日	令和7年3月14日（金） 文系クラス……2～3限時 理系クラス……4～5限時
会 場	本校小体育館
対 象	普通科2年生
目 的	今年度各グループに分かれて行った研究の成果について、A0サイズ（841mm×1189mm）にまとめたポスターを用いて発表し、表現力を高めるとともに、質疑応答を行うことで、研究全体のまとめと振り返りを行う。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各グループの代表が発表を行い、聞き手との質疑応答を行う。発表7分、質疑応答2分を1セットとし、時間内に6セットの発表と質疑応答を行う。 ○ 発表者はグループの中でのローテーションとし、全員が発表を行う。 ○ 今年度は外部指導者として4名の方に参観いただき、講評をいただいた。 長岡市地方創生推進部 ミライ工長岡企画推進室 間嶋 晃洋 様 同 地域おこし協力隊 佐藤 美優 様 ミライ発酵本舗株式会社 代表取締役社長 水流潤太郎 様 ミライ発酵本舗株式会社 統括マネージャー 斎藤 篤 様 ○ 職員が選定した優秀作品10点を、ミライ工長岡5階（互尊文庫）に展示中である。（～4/9まで）



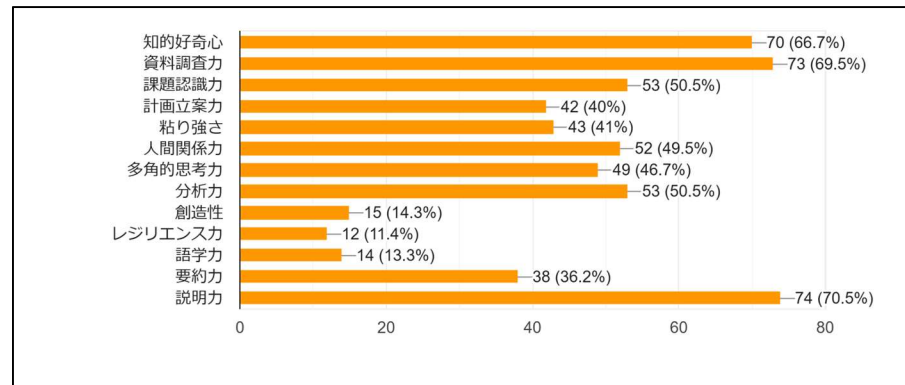
アンケート
評価

【質問】 「課題研究」の学習をとおして、「探究力向上のための13の資質・能力」の、どの力が身に付いたと思いますか？（複数選択可）

【回答】 理系クラス



【回答】 文系クラス



自己評価によると「知的的好奇心」「資料調査力」「分析力」「説明力」は文系・理系ともに高く、身についた資質・能力として実感を持っていることが言える。一方、「創造性」「レジリエンス力」は低いが、納得できる結果が得られるまで繰り返しチャレンジすることに重点を置き、育成を図っていく。

感想など

【質問】 「課題研究」の学習を通して、最もやりがいを感じたのはどのようなときでしたか？

【回答】

- 調べて得られた情報同士の因果関係や変化について班の人と話し合いながら深めることができたとき。
- 自分の好きな分野の課題研究をしたので、調べたり、考察したりすることで、今後の部活動や人生に刺激を与えることが自分自身ででき、やりがいを感じた。
- ひとつの歴史的事象を様々な視点で考察し、わかりやすくポスターにまとめることができたとき。
- 実際に実験を行って何回も調べた結果から考察する過程で、様々な角度から物事を判断することができたとき。
- 発表原稿を完成させたとき。抽象的な内容が多かったので、説明がわかりやすくなるようにするのに苦労した。
- 失敗しても何度も繰り返し実験をしたとき。結果的には思い通りのようにいかなかったけど、それもそれで良い結果だと思った。